

平成25年度第2回同窓会臨時役員会 議事録

日時：平成26年3月12日（水）18：30～20：45

参加者（敬称略）：古野会長、高嶋顧問、関下、戸高、稲田、宮路、川島、山本、加藤、佐藤、栗田、松本、秋田（議事録）

場所：豊橋技科大の豊橋サテライトオフィス

1、海外支部について

(1) 海外支部設立のねらい、及び、組織概要の説明がなされた（関下幹事）

(2) 支部設立の決定について

- ・ 海外支部設立を総会の決議事項として提案する。
- ・ 将来運営をする上で、国際交流センターの取り組み（*1）との違いや特色を出すように注意する。ただし、システムや組織づくりについては、業務内容が重複しないよう協力体制を築くよう情報共有を行っていく。そのために、まずは国際交流センターとの具体的な方針のすり合わせを実施する（担当：関下幹事）。
- ・ 8月臨時総会（会長からの要請で開催を決定：後述）で決議事項として提案できるように準備を進める（担当：関下幹事）。

（*1）現状は在学中の留学生がアルバイトで名簿作成中とのこと。三機関連携プロジェクトにつなげたい考え。

- ・ 三機関連携プロジェクト後の継続的運営のために同窓会として受け入れ体制を準備しておくことが重要であると確認。
- ・ 正会員である累積留学生数の把握が必要（現状では不明。全体では10%くらい）。今後、海外の正会員の数字を調査する。同窓会と大学の名簿との照らし合わせなどで確認する必要がある（担当：関下幹事、稲田副会長）。
- ・ 今後、各国セクションのセクション長を選任する。

(3) 関連した会則の変更

- ・ 第5章第11条1項に「（7）海外同窓会活動の統括」を追加挿入。
- ・ 第5章第11条3項に「（6）、（7）は任期1年で再任を妨げないものとする」を加える。

2、会則の改定

(1) 各系管理だったお金を全体一括管理とし、これに伴う改定を下記の通り行う。本件を8月臨時総会に決議事項として提案する。

- ・ 第8章第20条2項へ、会費の管理は「本会本部で行う」ことを追記。
- ・ 第8章第23条の追記（各系同窓会の年度事業計画、及び、予算計画案毎年立案・審議・承認するプロセスを導入）
- ・ 年度事業計画の導入に関する議論、注意点など
系間でのアクティビティが違うため不公平感が出ないよう調整が必要。金額の上限は定めるべき。
国際会議参加支援、学祭、卒業パーティー等、在学生向けサービスのみの拡充にならないよう注意。

同窓会正会員へ向けたサービスの拡充：例えば、オープンキャンパスを利用した同窓会活動、海外の同窓会参加への日本人参加者への補助等。

(2) 会計監査に関する会則を追記

- ・ 第8章と第9章の間に、新たに第9章として会計監査に関する章を追記
- ・ 第5章第11条1項にて、(8)の会計監査を削除。併せて3項の選任についての文も削除（新たに設けた第9章に移動）
- ・ 追加した第9章の文面を完成させる（稲田副会長、8月臨時総会に決議事項として提案）
- ・ 会計監査員は2系から選出（総会にて監査したことを宣言、承認）

(3) 総会開催に関する改定

- ・ 年度毎の事業/予算計画の充実のために第7章第16条2項 総会を毎年行うよう改定（8月臨時総会での承認を目指す）
- ・ 年度事業計画の承認を早い段階で得るために、総会開催時期は4、5月が妥当だが、今後議論を継続する。
- ・ 毎回はがきを送るか（費用は60万円程度）、電子メールとホームページでよいかを議論。
電子メールアドレスの把握割合は少なく、現住所確認の意味もあり、はがきも有意。
（8月臨時総会にはがきを出す方針）

3、その他

(1) 名簿管理システムの外部委託について説明（戸高幹事）

- ・ 要望：会員が自分の情報を個別に確認・変更できるようにすべき。
- ・ 委託会社はアルセント社をメインに、高嶋顧問提案の会社も調査し、次回役員会で決める。
- ・ サーバはセキュリティの都合上当該社のもの（アルセント社）
- ・ 下記、追加問合せ事項（戸高幹事）
現存データの入力もしてもらえるか？
役員が自由にアクセス出来るか？
会費入金確認もこのシステムで出来るか？
会報も頼むべきか内容や金額の面で確認
- ・ 現存名簿について
系をまたいで組織（会社や地域）でまとめることが出来ないか。会社等の組織内でOB会活動を行っている会社も多いのでは？これを通じて活動の活性化につながる。

(2) 同同窓会体制図を総会に決議事項として提出する。 その際、海外支部、各系同窓会の位置付けや同窓会本部の定義を明確にする。

(3) 次回役員会は5月、7月を予定。